



通信

HP 学校だより
R3. 9. 24
NO. 20
文責 伊藤美佳

《何気ない学校生活の一コマより》

Wa～ワールドあいさつキャンペーンを継続する中で、「おはよう」だけでなく「こんにちは」や「さようなら」が知りたくなくて、自分で聞いたり調べたりしている子がいました。問題を自分で解いて、校長室前に持ってくる子がいます。授業で捕まえた昆虫が何を食べるか調べて、世話をしている子がいます。こんな何気ない学校生活の一コマでも、子供たちにとって、「自分が知りたい」と思って調べることや「自分でできた、わかった」ことは自信につながり、学ぶ楽しさを感じられる大切な経験であると感じます。

日々の「考える練習」は学校だけでなく、家庭でも地域でもできます。これからの時代を生き抜いていく子供たちに、「自分で考える力」をつけてあげることが大切です。考えることから、自ら判断し、行動する力が育ってくることを願っています。

自分でできたとき、自分で解けたときの子供たちのきらきら輝く目、はっとした顔を見ると、思わず笑みがこぼれてしまいます。ぜひ、ご家庭でも「自分で」「自分から」の経験を大切にしてみてください。



《スズメバチの巣》

先週末にメールで連絡したスズメバチの巣は、プロの方に除去していただきました。今は、「トヨサカ」の周辺（通信の表題となっています）は安全となりました。遊んでいる子供たちの安全が確保され、一安心です。

さて、除去されたハチの巣は、きれいに残っていたので、中央玄関に展示してあります。スズメバチも幼虫もそのままの状態（もちろん死んでいます）で残っており、子供たちは興味津々で観察しています。本当なら危険だから近寄って見ることはできない生き物です。しかし、今回は近くでじっくりハチの作る自然の造形美を観察することができます。子供たちにとっては、模様の「美しさ」より巣やハチを「触ってみること」の方に興味があるようです。



～9月28日 メーテレで鈴木化学工業所について放映～

毎日新聞に続き、今週メーテレの取材が鈴木化学工業所（六栗）に入りました。朝の情報番組「ドデスカ」の「まちQ」というコーナーで来週は「幸田町」について放映されるそうです。鈴木化学工業所が取り上げられるのは、28日（火）の朝6時45分くらいからの回で、子供たちの熱中症対策として給水場を設けてくださっていることをクイズするそうです。子供たちも撮影に協力しています。お楽しみに！